

高松市生涯学習センター 生涯学習カレッジ（個人の生活に役立つ講座）

「古典文学講座 「平家物語入門」」を開催しました。

平成30年7月24日・31日・8月7日（火）、高松大学発達科学部教授の澤田 文男さんを講師に迎え、「古典文学講座 —平家物語入門—」（全3回）を開催しました。

1回目のテーマは、「平家物語の史的背景」です。平家物語を5つの時期に分けて、歴史の流れに沿って登場人物や出来事についての解説がありました。歴史的な背景や様々な相関関係、利害関係、戦いの場の地理的な条件などを知ることができました。



2回目のテーマは、「巻第十一 嗣信最期」です。原文を読み進めながら、登場人物のプロフィールや言葉の意味の丁寧な説明がありました。また、服装や装束、鎧、兜、弓矢、太刀などは画像を使っての説明でより具体的に知ることができました。



3回目のテーマは、「巻第十一 那須与一」です。地元高松のお話ですから、よく知っているつもりですが、実は知らないこともたくさんあります。2回目と同じように解説を交えながら原文を読み進めるとともに、今回はこの場面のヒーローである那須与一についてスポットを当て、生涯を過ごした各地についての紹介がありました。出身地の栃木県大田原

市や、扇的の舞台の高松市では、マスコットキャラクターや、マンホールの蓋のデザインに使われているなど、現代でも大活躍していることが画像とともに紹介されました。

最後に澤田先生から「平家物語の原文は、漢文調、比喻表現、擬態語を使うなど場面に応じて文章に技巧を凝らし、読み手に鮮明な印象を与えます。原文のほうが、美しく名文です。」とのお話をいただきました。平家物語の素晴らしさを教えていただいた3回の講座でした。

